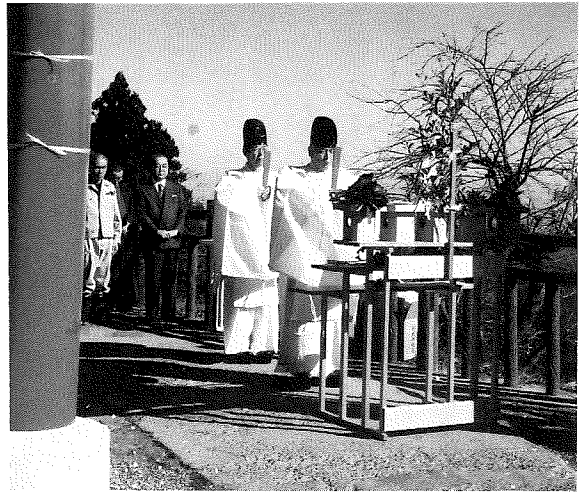


# 鳥居の建て替えくぐり初め



ケーブルカー御岳山駅下車三分御岳山頂の御嶽神社を一望出来る所に位置する木製の鳥居が老朽化し、参拝者の安全を計る為建て替への話が持ち上がった。

検討の結果、半永久的で、工期が短くてすむ硬質塩ビ製、明神型鳥居を採用、建て替えることとなった。

起工式は平成七年十一月二十三日総代はじめ工事関係者参列のもとおこなわれ、工事の安全を祈念し、十二月八日竣工した。

完成した鳥居は幅六m、高さ約五mと従来ものとはほとんど同じ大きさで、竣工式でくぐり初めが斉行された。

## 青梅市の福富氏

### 宮中へ献穀

平成7年度の宮中新嘗祭献穀は、精米を町田市の安藤稔一氏が、また、精粟を青梅市の福富正雄氏がつとめられました。去る、10月30日献穀者ご夫妻と各JAの組合長ともども宮中へ参内し天皇陛下に新穀を献上されました。

さらに、明治神宮、伊勢神宮等にも献穀され、12月11日には東京都農業感謝実行委員

### 三月九日、十日、十一日に

### 神楽講習会

会の加藤源蔵会長（JA東京中央会長・各連合会長）を始め、献穀者の安藤、福富氏、JA青梅新井組合長、各連合会の関係者が武蔵御嶽神社に参拝、太々神楽奏上し、豊饒を感謝申し上げ初穂の献穀をおこないました。

当神社の太々神楽講習会は、古くから春季大祭の翌日、九日、十日、十一日の三日間、続けられている。年間六十回以上舞われる神楽は、当神社の神職が代々世襲しているので、習得が義務づけられており連日の受講生

は二十余名。

九日午前九時より開講奉告祭が執りおこなわれ、各演目別にそれぞれ講習した。



## あとがき

十月八日の三十二mmの雨を最後にカラカラ天気、百二十三日ぶりの大雪も水不足の折には「めぐみの雪」。

今はあの乾燥もうそのように木々は大量に水を含み、春の芽ぶきを迎え新緑に輝いている。神社参拝記の御々講々元三田孝代司様の玉稿を賜りありがとうございます。今後皆様方のご購読を賜りたく、あわせてご寄稿をお待ちいたしております。（片柳）

平成八年三月 日発行

〔非売品〕

編集 武蔵御嶽神社

印刷 (株)成和印刷

表紙写真 埼玉県和光市 末棟 義彦

表紙写真 埼玉県和光市 末棟 義彦